

医学的適応による未受精卵子および卵巣組織凍結に関する実態調査について

平成 29 年 1 月 11 日

本院では下記の研究に参加しておりますのでお知らせいたします。

本院では聖マリアンナ医科大学が代表として行っている「子ども・子育て支援推進調査研究事業」に協力しています。この研究は、今後一層の妊孕性温存治療の発展について協議するうえでの参考として、できる限り最新の「医学的適応による未受精卵子および卵巣組織凍結保存に関する現状」を把握するためのものです。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。

1.研究課題名	本邦における医学的適応による未受精卵子および卵巣組織の採取・凍結・保存に関する実態調査
2.対象患者	悪性腫瘍、血液疾患もしくは免疫疾患、卵巣腫瘍などに罹患し、それらの治療によって妊孕性が著しく低下する予測のもと、未受精卵子もしくは卵巣組織凍結を施行された症例を対象とします。
3.対象となる期間	平成22年(2010年)1月1日～平成28年(2016年)11月30日
4.実施診療科等	産婦人科
5.研究の目的	未受精卵子および卵巣組織凍結について、治療結果や診療実態を明らかにし、本医療がどの地域の方でも受けられるよう、また更なる発展の基盤となるため情報を収集することを目的としています。
6.研究の意義	本研究の結果を厚生労働省に報告し、提言を行うことによって、本領域の治療がさらに発展し、日本全国に広まることが期待できます。
7.研究の方法	患者さんの診療録から診療情報を抽出します。また、診療に要した医療費などの情報も調査対象となります。
8.個人情報の保護	病院外に提出する症例報告書などがある場合にはイニシャルあるいは被験者識別コードなどを用います。また研究結果を公表する際には被験者を特定できる情報を含めないようにします。尚、得られた情報は試験の目的以外に使用しません。
9.利益相反に関する状況	厚生労働省 平成28年度子ども・子育て支援推進調査研究の一部として実施します。
10.問い合わせ先	関西医科大学附属病院 産婦人科 岡田英孝 電話 072-804-0101